



## 9月1日は、「防災の日」

地震や台風、津波、近年では気候変動が原因と言われる大雨など自然災害が多い日本では、日ごろから災害に対する備えが必要です。そのために、災害の発生をふせいだり、もし災害が起きても被害を最小限に止めるにはどうすればいいのかがていちきしよくばがっこうかんがえとりくむびを家庭や地域、職場や学校で考え、取組む日として定められたのがこの「防災の日」です。

この機会にあなたも、「大きな地震が来たらどうするか?」「災害への備えはできている?」といったことを、考えてみましょう。特に大地震はいつ起きるかわかりません。登下校時や部活中、休み時間に起きるかもしれません。家族とも、もしもの時の行動について、話し合ってください。

1学期の避難訓練の時にお話したように、東日本大震災で、中学生たちが地域の小学生やお年寄りを誘導して「釜石の奇跡」として知られた岩手県の釜石市の中学校では、「日頃から、いつ地震が来ても大丈夫なように行動する」ということを実践していたそうです。毎日の行動をいい加減にしないことで、もしもの時に自分だけでなく周りの人の命を守ることもできるのです。

今のあなたは大丈夫ですか? 「天災は忘れたところにやってくる」だから「備えよ常に!」の気持で。

### もしも大きな地震が起こったら…

#### 《屋内で予想される危険の例》

- ①天井や照明器具、エアコンなどの物の落下
- ②棚、ロッカー、靴箱などの移動・転倒・落下
- ③窓や棚のガラスや食器などの破損
- ④床・階段の崩落、陥没
- ⑤調理・実験器具、暖房器具の破損、落下、熱湯、薬品の飛散、火災

#### 《屋外で予想される危険の例》

- ①窓ガラス、かわら、外壁の落下、飛散
- ②塀や壁、サッカーやバスケのゴール、バックネット、自販機、電柱の倒壊、感電
- ③山間部、斜面、海岸部での土砂崩れ、津波
- ④橋や歩道橋の破損、落下
- ⑤都市ガスのガス漏れ、爆発、火災

### 危険から身を守るための基本的な行動は、

#### 《まずは自分の身を守る!》

- ①物が、落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所へ移動して、落ち着いて揺れがおさまるのを待つ。この時、頭部を最優先に守る。
- ②激しい揺れがおさまったら、あわてず、騒がず、その場所が安全かどうかを判断する。

#### 《安全な場所へ避難する》

- ①鉄筋校舎にいる場合は、比較的 안전한ので、あわてて外にとび出さない。揺れがおさまってから、運動場などに避難する。
- ②避難行動は、おさない、はしらない、しゃべらない、もどらないの原則を守る。

しゃべらない



### 9月1日は、今から99年前に 関東大震災が起きた日です。

神奈川、東京、千葉を中心に震度6強から7の地震が発生しました。家屋の倒壊や地滑り、津波や大規模な火災によって死者、行方不明者は10万5385人に達し、日本の自然災害史上で最悪の被害をもたらしました。



地震発生後の混乱の中、「朝鮮人が井戸に毒を投げ込んだ」等のデマが流されました。そしてそれを信じた一般市民が作った「自警団」によって、多数の朝鮮人や中国人などが虐殺される事件が起きました。災害の中で、当時の人たちの差別意識が起こした事件です。人権意識も防災の力なのですね。

# 場面別の行動のポイントは、

## ①授業中

- 机の下にもぐったり、身近なもので頭を守る。 ・窓や棚、ロッカーから離れる。
- カーテンがある場合は閉める。 ・先生の指示に従う。
- 避難場所に集合したら、すぐに整列し、静かに指示を待つ。

## ②休み時間や放課後

- あわてて校舎外にとび出さない。 ・校内放送や先生の連絡を静かに聴き、指示に従う。
- 体育館では落下物に注意して中央部に集まり、天井の破壊がひどければ出口に移動。
- 運動場では中央部に集合し、指示を待つ。 ・校外に出たり、校舎内に戻ったりしない。
- 校舎の間では、落下物に気をつけて広い場所に移動する。



## ③登下校の途中は、

- カバンなどを頭のにせて、ガラス等の飛散物や落下物から身を守る。
- ブロック塀や自動販売機、かんばんなどから遠ざかる。
- 中宮中・小学校・家庭の三つの中で、距離的・時間的に一番近いところに避難する。
- いったん落ち着いたら、学校や家庭に連絡する。

**家にいる場合は・・・無理に登校せず、まずは家で安全を確保する。自宅待機。**

- 状況をよくみて、自宅にとどまるか、近くの避難所に行くかを判断する。  
※一次避難所は、中宮小・山田小・明倫小です。(中学校は2次避難所になります。)
- 保護者が不在のときに地震が起こった場合の行動は、家族で話し合っておく。

## ★保護者のみなさまへのお願い★

### その1 学校からの情報をキャッチできるようにしてください。

学校からの情報提供は、次の三つの方法です。 ※電話は不通の可能性あります。

#### ①「ミル・メール」を使った情報提供

「ミル・メール」のアドレスを登録している方に直接メールを送信します。

★タイムリーな情報提供のための方法です。できるだけ登録をお願いします。

#### ②学校のホームページを使った情報提供

中宮中学校のホームページのトップページに、情報を掲載します。

#### ③タブレットを使った情報提供・状況確認

クラスルームに情報発信します。状況確認する場合もあるので、非常時に備えて充電を。

### その2 生徒の引渡しに協力してください。

- 地震がおさまっても状況により、学校にとどまることがあります。帰宅途中や帰宅後の被災を防ぐため、保護者の方に学校まで生徒を迎えに来てもらう、「引渡し」をお願いすることがあります。
- 「引渡し」の場合、保護者の方が来校するまで、生徒は学校の安全な場所で待ちます。

### その3 避難先や連絡の方法について、必ず家族で話し合ってください。

- 地震のときの動きを、家族で話し合い、「避難先」などを確認し、心の準備をしておきましょう。
- 地震に備え、「身を守るもの」「非常用飲料水や食物」「情報グッズ」等も準備しましょう。

臨時休校など災害時の対応は、学校のブログの、「配布文書」に掲載しています。必ず、ご確認ください。



あすは**大阪880万人訓練**です。大阪府全域で「地震発生」「津波情報発表」を想定した防災訓練を行います。校内放送や緊急速報メールに応じて、身を守る行動をとれるようにしておいてください。